

tomica
LIMITED VINTAGE
NEO
1/64 SCALE

好評の100系 後期型に新仕様です 100系マークII グランデ系に2.5グランデが登場！

1/64スケールダイキャスト製ミニカー（塗装組立済） オープンパッケージ

パッケージサイズ：W100mm×H42mm×D40mm（2種共）

※写真は試作品です。実際の製品仕様とは異なる場合があります。

原産地：中国 重量約55g

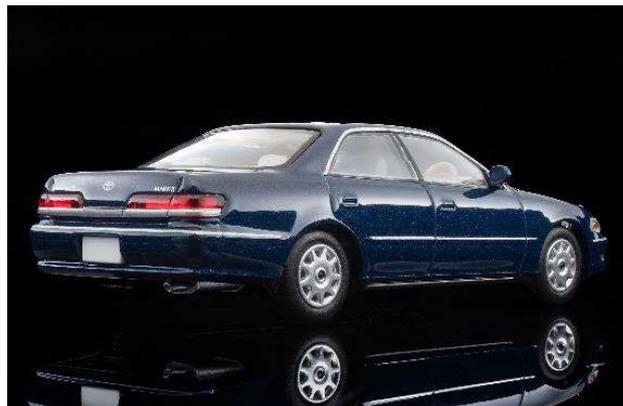
※著作権元商品化許諾申請済

3月
予定



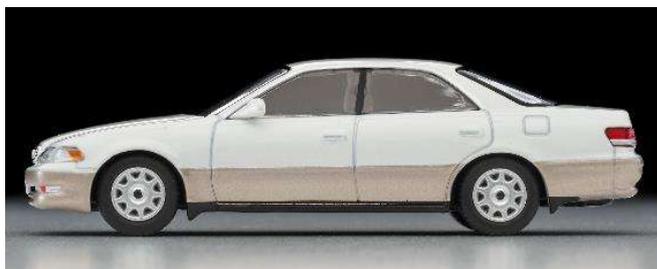
↑ LV-N311c トヨタ マークII
2.5グランデ 98年式(白/金)

↓ LV-N311d トヨタ マークII
2.5 グランデ 98年式(紺)



●ここが見どころ●

- ①根強い人気のX100系マークII
- ②街でよく見かけたグランデ系
- ③内装の彩色の違いにも注目



マークII三兄弟の中でも中心となり、最もベーシックなキャラクターが与えられてきたマークII。中でも1996年登場のX100系は、『セダンイノベーション』の号令の下、シャーシ性能の強化、直線的なスタイルへの回帰など、マークIIらしさを追求しました。1998年には後期型にマイナーチェンジ。当時は堅実なユーザー層に好まれたマークIIですが、近年はチューニングやドリフト車のベースとしても愛されています。スポーツサルーンといえるツアラー系と高級なグランデ系がラインナップされましたが、それぞれのキャラクターが支持され、人気は今なお衰えることはありません。

TLV-NEOのX100系としては、チェイサーやマークII ツアラーV後期型に引き続き、後期型のグランデ系を発売して大変好評をいただきましたが、今回は後期型の2.5グランデを展開いたします。N311cは街中で見かける機会の多かった白/金のツートンカラー、N311dはフォーマルな印象の紺のボディカラーを再現。いずれもツアラー系とは異なる大人しいホイールとしました。TLV-NEOでも一つの柱となりつつある'90sFRセダンの代表的な一台を、ぜひコレクションに加えてください。

【文責：トミーテック】

TLVで迎える日本車の歴史